

第3期の取組み予定について



令和7年3月25日（火）

土木部 道路都市局 都市整備課



【目次】

- 第3期の取組み予定について
とべ動物園まじめ行動計画（第3期：R7～R9）
 - 1.1 第3期計画を検討するにあたって……………1
 - 1.2 第3期の方向性と取組み……………2
 - 1.3 主な取組みの内容……………3

○ 今後の取組みについて

とべ動物園まじめ行動計画（第3期：R7～R9）

1.1 第3期計画を検討するにあたって

■ワークショップの開催

集客観光施設として、さらなる魅力向上を図っていくために、高度化、多様化する利用者ニーズを考慮するなど多角的視点をもった施策立案が必要であることから、（公財）愛媛県動物園協会職員及び若手や子育て世代の県職員が参画するワークショップを開催し、これまでの取組みの検証や、とべ動物園の現状を分析し、より実効性のある施策検討を実施。



○ 今後の取組みについて

とべ動物園まじめ行動計画（第3期：R7～R9）

1.2 第3期の方向性と取組み

■方向性

第1期「知ってもらおう」 ⇒ とべ動物園ブランドの構築

第2期「良さを実感してもらおう」 ⇒ とべ動物園ブランドの強化と定着

↓ 次のステージへ

第3期「愛着をもってもらおう」 ⇒ とべ動物園ブランドロイヤルティ※の獲得

※とべ動物園に対して感じる愛着や信頼感

第1～2期で取組んだ事業実績や成果を踏まえ

○引き続き、ブランドの浸透と定着を図るとともに、ブランド資産の着実な増進に努める。

○さらに来園者との良好な関係構築に努め強い結びつきによる顧客リレーションを構築する

第3期の行動計画を策定し、入園者数の回復（55万人）に向けて引き続き取り組んで行く。

○ 魅力向上に向けた取組みと成果について

1.2 第3期の方向性と取組み

★主な取組み方針

第3期は、イベントや情報発信などの取組みを引き続き効果的に実施しながら、来園者が、とべ動物園に愛着を持ち、リピーターとなっただけなど動物園とのより良好な関係が構築できるよう、**魅力ある動物の導入や行動展示の推進**、安全で快適な**観覧環境の充実**、**新たな学び、気づきを与えるイベントの拡充**、また、**周辺施設との連携**などの施策に集中して取り組む

行動計画	第1期 (R元~R3)	第2期 (R4~R6)	第3期 (R7~R9)
目標入園者数	確実に50万人	55万人	55万人
取組み方針	良好な「とべ動物園ブランド」の構築	良好な「とべ動物園ブランド」の強化と定着	高い「とべ動物園ブランドロイヤリティ」の獲得
到達目標	<u>とべ動物園のことを知ってもらう</u> (来園のきっかけづくり)	<u>とべ動物園の良さを実感してもらう</u> (来園者に満足感を与える)	<u>とべ動物園に愛着を持ってもらう</u> (動物園愛を根付かせる)
重点戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・集中的かつ積極的な、戦略的情報発信、広告宣伝、話題性のあるイベントなどにより、<u>認知度を高める</u> ・人気動物の導入や魅力的な話題性のある観覧環境の整備により、<u>ブランド資産を増進する</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、情報発信や広告宣伝に努め、<u>ブランドの浸透と定着を図る</u> ・動物への興味が深まる動物展示や、安全で快適に観覧できる環境整備により、<u>ブランド資産の着実な増進に努める</u> ・来園者との<u>良好な関係構築に努めコミュニケーションの活性化を図る</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、<u>戦略的情報発信や広告宣伝に努め、ブランドロイヤリティの獲得を目指す。</u> ・魅力的な動物導入や動物への興味が深まる動物展示、安全で快適に観覧できる環境整備により<u>愛着を深める</u> ・来園者の利便性や快適性を重視した園内の観覧環境の整備により、<u>来園者満足度を向上させる。</u>

○ 今後の取組みについて

1.3 主な取組み：動物導入

魅力ある動物の導入

○ 動物管理計画の策定

公益社団法人日本動物園水族館協会（JAZA）のコレクションプランに基づくとともに、園内の各ストリート（ゾーンニング）の展示コンセプトも踏まえながら、長期的な視点での種の保存への貢献度、教育的・学術的価値、これまでの飼育・繁殖状況、搬出入の見通しといった観点から動物を選定。

〔最優先種〕



〔ボルネオオランウータン〕

〔優先種〕



〔アフリカゾウ〕

〔維持種〕



〔キリン〕

〔検討種〕



〔ニホンカモシカ〕



〔マレーバク〕



〔ヒガシクロサイ〕



〔ライオン〕



〔オウサマペンギン〕

○ 今後の取組みについて

1.3 主な取組み：ハード整備（1）

○ オランウータン舎の整備

インドネシアからのメスのオランウータンの導入・繁殖を見据え、獣舎を整備する。

・ 空き獣舎となっているインドゾウ舎を活用し、ゆったりとした飼育・子育てスペースを確保し、生き生きとした動きを引き出す。

整備イメージ



今後変更の可能性有

基本方針1：とべ動物園の強みを活かした（独自性のある）動物園の実現

基本方針2：人が集い活力のある動物園の実現

基本方針3：動物と自然の関わりについて興味を抱かせる動物園の実現

魅力ある動物
の導入

行動展示の
推進

○ 今後の取組みについて

1.3 主な取組み：ハード整備（2）

魅力ある動物の導入

○ 新たな動物導入のための獣舎改修

動物管理計画を踏まえ、動物導入のために必要な獣舎改修を実施。



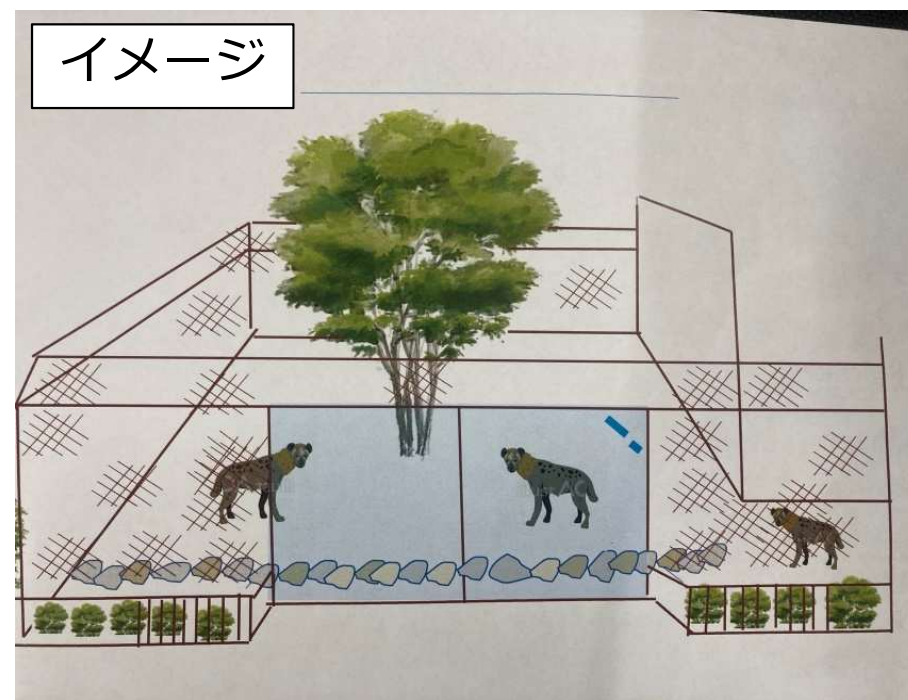
例：ニホンカモシカ導入のため、フェンスを嵩上げ

基本方針1：とべ動物園の強みを活かした（独自性のある）動物園の実現

行動展示の推進

○ 魅力が向上する獣舎改修

老朽化対策と併せ、魅力向上に資する部分改修を実施する。



例：檻の一部を改修し、ガラス展示に

基本方針2：人が集い活力のある動物園の実現

○ 今後の取組みについて

1.3 主な取組み：ハード整備（3）

○ 多言語表記動物解説板・ストリートフラッグの多言語化

〔課題〕

- ・ 開園当初からのものや、一部修繕したものなどが混在
- ・ 老朽化が著しく一部欠損により判読が困難
- ・ インバウンドモニターツアーにおいて、案内板の内容への不備を指摘する意見

〔取組み〕

引き続き

- ① 統一性のあるデザインで一新し、全体のイメージアップに繋げる。
- ② 全ての来園者に優しい園内施設の整備として多言語表記で設置

基本方針2：人が集い活力のある動物園の実現

基本方針3：動物と自然の関わりについて興味を抱かせる動物園の実現

観覧環境の
充実



※現況の動物案内板とストリートフラッグ



デザイン統一した多言語表記動物解説板
ストリートフラッグの多言語化更新

○ 今後の取組みについて

1.3 主な取組み：ソフト施策（1）

○ WebやSNS、サイネージ広告等を使用した 情報発信の強化・環境の整備

- WebやSNSなどを使用した情報発信について、情報の拡散を目指し、わかりやすくインパクトのある情報発信に努める。

- サイネージ広告などを活用し、効果的なイベント周知を行う。

- 園内で写真を撮りSNSでアップしてもらうことは、動物園の情報拡散に繋がり、動物園に行ってみたいと思わせる重要な要素であることから、動物園ならではの写真が撮影できる環境を整備する。

- 高速通信が可能となる園内のWi-Fi環境の整備・拡充に取り組む。

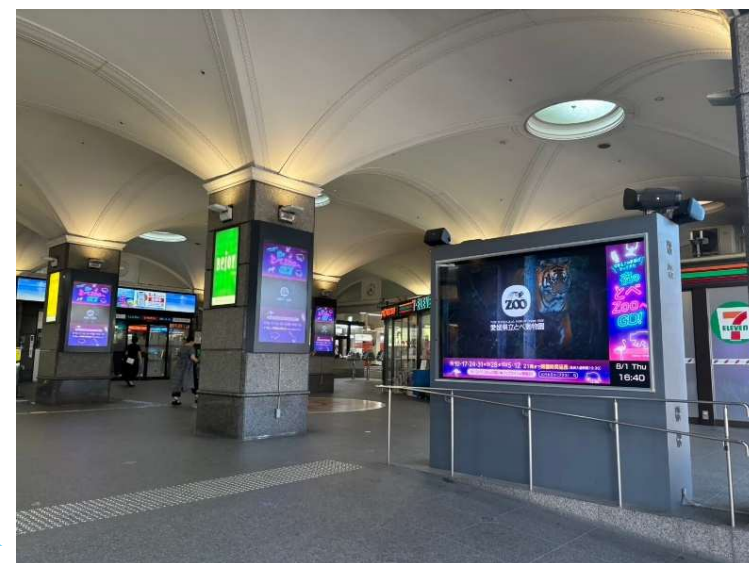
基本方針2：人が集い活力のある動物園の実現

基本方針4：持続可能な動物園の実現

観覧環境の
充実



注目動物の動画作成



サイネージ広告

○ 今後の取組みについて

1.3 主な取組み：ソフト施策（2）

○施設見学や学校との連携強化による教育活動の展開

- 学校との連携強化を図り、施設見学・体験や動物のふれあい等を通じて教育利用の拡大に努めていく。



獣医師体験



標本解説



学習用パンフレット



ふれあいキャラバン

○ 今後の取組みについて

1.3 主な取組み：連携施策・とべもり+（プラス）との連携

令和3年3月にジップラインで繋がった「えひめこどもの城」、「愛媛県立とべ動物園」に「愛媛県総合運動公園」を加えた3施設全体を「とべワンダーフォレスト」（略称：とべもり）として始動。令和5年度からは、新たに「えひめ森林公園」を加え『とべもり+（プラス）』として、来園者の皆様にエリア内の魅力を体感いただけるよう、挑戦と楽しさのスケールアップを目指して、施設間で連携した取組みを実施している。



えひめこどもの城

約35haの自然豊かな敷地を活かし、様々な体験ができる大型児童館。
「とべもりジップライン」は、こども城ととべ動物園を行き来できる四国最大級のジップラインで、往復の2コースを並走して楽しめる。令和5年3月には、大型木製アスレチック「コシロ・アドベンチャー」も完成。



愛媛県立とべ動物園

広い園内を活かしたパノラマ展示や野生に近い姿が見られる行動展示などにより、中四国で1,2位の来園者数を誇る動物園で、約147種の動物を飼育展示。
ホッキョクグマの「ピース」は、県内外の方から絶大な人気を博しているほか、赤ちゃん誕生の動物も。ジップライン発着地付近ではトラがお出迎え。



愛媛県総合運動公園

愛媛FCをはじめ県内プロスポーツチームのホームスタジアムに選定されるなど、スポーツ活動の拠点。
令和5年度には、「ねんりんピック愛媛のえひめ2023」の総合開会式の会場となったほか、令和8年度の「全国植樹祭」の開催会場に決定している。本格的なオリエンテーリングコースもある。



えひめ森林公園

伊予市に位置し、春夏秋冬、四季折々の自然を楽しめる緑豊かな都市近郊型森林公園。
キャンプ場、バンガローのほか、全長約2,000m、全25種のフィールドアスレチックは、県を代表する名所をイメージして作られている。今年4月には「結(ゆい)のブランコ」等の新たな木製遊具も登場。

○ 今後の取組みについて

1.3 主な取組み：連携施策・とべもり+（プラス）との連携

○ イルミネーション周遊バスの運行

「イルミネーション」をとべもり+エリアの風物詩としてPRすることで、とべもり+の知名度向上を図るため、イルミネーションの開催にあわせてイルミネーション装飾を施したバスを運行



○ 連携イベントの実施

「共通テーマ」を設定し、4施設においてテーマに沿った各施設の特徴や魅力が伝わるリアルイベントを「同時期」に開催。
 期間中、メインイベントとして新たに「とべもり+ワクワク体験フェスティバル」を開催し、スケールメリットを生かし、とべもり+4施設連携イベントとして一体的に広報。




「とべもり+」で遊んで学ぶ 体験型イベント
とべもり+GO!GO! WEEKS
 『共通テーマを設定』例：挑戦、健康、芸術、冒険

・子どもたちに豊かな体験機会を提供
 ・「とべもり+」で遊ぶ楽しさを再発見してもらう

【メインイベント】
 総合運動公園
 ぐとべもり+わくわく体験フェスティバル

・とべもり+出張ブース
 ・ワークショップ、スポーツ教室等



【施設イベント】
とべ動物園

【施設イベント】
こどもの城

【施設イベント】
森林公園